



利用者の皆様へ



大日向代表理事からのメッセージ(新刊紹介)

今年の1月から3月にかけて「社会人のための生涯就業力講座 2019」を開催いたしました。テーマは「子どもを伸ばす母親の自己肯定感」でしたが、その折、参加者の方々からぜひ本にしてほしいというお声をたくさんいただきました。

そのご要望にお応えして拙著『もう悩まない！自己肯定感で幸せ子育て』（河出書房新社）を執筆いたしました。

母となった女性のために、女性としての生き方について、書かせていただきました。お読みいただければ幸いです。

なお、＜終わりに＞に本書への私の思いを記しましたので、ご参考になさってください。

＜終わりに＞…たゆたえども 沈まず

子どもとの縁を一生かけて大切に育んでいくために、ときに迂遠に思える道を焦らず、あきらめずに進んでいくために、最後に“たゆたえども沈まず”という言葉（パリ市20の行政区のすべての紋章に刻まれている）を皆さまに贈りたいと思います。（中略）子育て真最中の皆様は、今、まさに荒波にもまれているような心境かもしれません。人生は晴れの日ばかりではない、むしろ波風に揺れる日が少なくありません。私も同じような時を重ねてきました。二人の娘たちが幼かった頃、私もまだ若く、母親としても、仕事のことで、人間関係でも迷わない日はありませんでした。でも、人生は荒れているだけではない、必ず晴れの日が訪れます。その時は苦しくて、先が見えなく思うこともあるでしょう。そんな時は波に身を任せていればいい。揺れていることも人生の力です。それが沈まない力です。沈みさえしなければ、必ず、船も人も前進するということが、“たゆたえども沈まず”の言葉が伝えてくれているのです。

子育てに悩み、揺れていいのです。迷うことのない母親が立派な子育てができるとは限りません。子育てに悩み、揺れるのは、それだけ真剣に子どものことを思っているからです。流れに抗うことだけが術ではありません。抗わずに揺れる時も大切です。揺れる心は立ち止まる慎重さをもたらしてくれます。揺れるからこそ、自分の足元や周囲を見つめる冷静さと、周囲の方々の力をお借りし、共に生きる謙虚な心が芽生えることでしょう。そうした力を蓄えながら前に向かって一步一步進む母親の姿こそ、子どもにとって明日を生きる大きな力となることでしょう。

苦難の歴史を持ちつつも燦然と輝く花の都、世界中の人々が憧れるパリのように、子育ての日々はいつかかならずやまぶしく美しい輝きとして実を結び、花開くことを信じてください。何よりも、傍らにいる子どもたちは間違いなく、日々、たしかに前進していることを信じたいと思います。